

■ご挨拶	1
■国会見学	1
■見学して思ったこと	1
■国会報告	2~3
■活動報告	4
■お知らせ	4
■編集後記	4

Shin-ya新聞

発行日
平成18年7月1日

発行

足立信也事務所
広報委員会

〒879-7761

大分市中戸次6126-1

TEL (097) 548-8484

FAX (097) 548-8400

『足立信也と安心な日本を創る会』 <http://www.adachishinya.com> E-mail: info@adachishinya.com

ご挨拶



皆様のお手元にこの新聞が届く頃は梅雨の真最中でしょうか。梅雨は最も病気の多い季節です、ご自愛ください。

昨年の郵政解散、総選挙を経て、反省をこめて決意を新たにすることが2点あります。1点目はどちらの味方、どちらの敵という態度、又はそのように見られるような政策は正しくないということ。すべての国民が納得できるような政策でなければならぬし、そうでなければその政策は未完成というべきです。2点目はまず、「あるべき姿像」を国民に示すことの重要性です。これを描けなければ、国民から信頼される政党へ脱皮することはできません。

以上の再認識を持って私の担当する医療改革の分野から、将来のあるべき姿、それへ向けて取り組むべき課題と方向性、今解決しなければならぬ現実の課題を逐次公表してきました。その詳細は私のホームページ、あるいは拙冊『崖つづち日本の医療を救う』をご覧の方は御承知のことと思います。このような姿勢を今後とも貫きたいと思えます。

蒲江出身の経団連の御手洗新会長も信頼される二大政党制が望ましいと明言されておられます。二大政党とは政権を担った経験があつてこそはじめて言えることです。皆様のご支援を切にお願い申し上げます。

今回の新聞は内容が盛りだくさんになっております。短めのご挨拶にいたしました。不足の部分はお会いして申し上げたいと思います。

参議院議員 足立信也

国会見学

◆国会見学と民主党パーティーに参加して

(5月30日~5月31日)

昨年、暮れの親族会の際に、数人の親族の方から国会見学を計画してほしいとの意見が出ましたので、今回計画したところ親族11名、支援者3名、編集委員2名、事務所スタッフ2名の参加希望があり国会に行きました。

集合場所の参議院議員会館前で、蓮訪議員や数人の国会議員をお見かけすることができ、また、玄關前での菜穂美夫人と村上秘書の出迎えに一同感激しました。午後1時より足立参議が厚生労働委員会一般質問にたつので、委員会室に急ぎました。質問時間は、残り30分近くでしたが、参議の質問に対しシドロモドロの答弁を繰り返す役人を見て、一同改めて感激し、短かい時間が、更に短く感じました。参議の質問終了後に議員会館の食堂で、夫人と東京事務所スタッフ全員で昼食をとりました。参加者のみなさんは、食堂にあるメニューの多さと値段の安さを見てビックリしていました。午後3時過ぎより国会内の見学を約1時間、衛視の方の案内で参議院本会議場や民主党緑風会控室等を見学しました。本会議場では、参議の席を見つけてみなさん喜んでいました。最後に国会議事堂正面で、全員の記念写真を取り、宿泊先のホテルニューオオタニにチェックインしました。午後6時からの「民主党大躍進パーティー」には全員参加し、テレビ等でお馴染みの国会議員を見かけては、声をかけ、名刺交換するなど和気あいあいの雰囲気でした。また、出席者の多さに「政権交代」の期待が感じられ、夢が膨らみました。終了後の二次会では、足立参議を囲み軽い食事をしました。その席に親族である

橋本参議院事務局議事部長も参加していただき他の親族の方たちは、大喜びでした。翌日は、自由行動でしたので、当日帰郷した人や親せきの家に行つて後日、帰郷した人など、様々でした。参加者のみなさん、ご苦勞様でした。また、ありがとうございます。お世話いただいた東京事務所の方にも感謝いたします。

編集委員

見学して思ったこと！

支援者の皆様方と5月30日から1泊2日の日程にて国会見学と民主党パーティーに参加しました。足立議員の活動する場・国会議事堂を一度自分の目で見てみたいというのが以前からの私の願いでした。今回の旅行でそれが叶い大変うれしく思います。一番印象に残ったのは、足立議員が質問をする厚生労働委員会を傍聴したこと。残念ながらテレビや新聞では、このような委員会での活動はあまり報道されません。重要な法案について、足立議員が与党に対してどのような問題を提起し改善させようとしているかを地元の皆さんにもっとお知らせしたいと感じました。足立議員の東京での活動を多くの皆さんに知ってもらいたい、支援の輪がもっともつと広がることが次の私の願いになりました。

(M・T)



2005.9.26

- 2005年10月17日
アスベスト対策作業チーム発足
- 10月18日
環境委員会
「アスベスト被害」
に関する質疑



1月17日「筑波大学医学セミナー」

- 2006年1月16日
茨城医療関係者意見交換会



1月22日「労働者住民医療機関連絡会議幹事会」

環境委員

- 2月7日、8日、9日
アスベスト関係取材
NHK、大分合同新聞社

- 2006年2月3日
環境委員会
「石綿関連法案」質疑

- 3月16日 講演
医薬品産業政策研究会

- 3月16日
環境委員会
「アスベスト問題」
「水俣病患者問題」
など質疑

- 3月19日
第2回がん患者大集会
参加

- 3月30日 環境委員会
「国立環境研究所改正法案」質疑



4月4日「民主党医療関連3法案発表記者会見」

行政監視委員

- 4月25日
環境委員会
「アスベスト問題」
「国立環境研究所随意契約問題」
など質疑

- 4月25日
国立環境研究所関連取材 NHK

- 5月12日
「安心と信頼の医療と介護」
2006連合中央集会 講演

- 5月23日 講演
日本記者クラブ社会保障研究会



5月12日「安心と信頼の医療と介護」講演

医療改革

2005年10月に民主党医療改革作業チームが発足し、その事務局長に就任した。翌年の通常国会に政府が医療関連法案を提出するタイミングに合わせ、党として、医療全般に渡る改革策を示すというのが目的であった。作業は多忙を極めた。何が問題で何を目的とするのかという理念に始まり、現状の調査・情報収集、具体的政策案の作成、法案作成までをわずか半年の間に限られた人員でこなさなければならなかった。

そして、12月には、将来のめざすべき医療を描いた「日本の医療のあるべき姿を求めて（基本的考え方）」を発表し、3月には、現状の諸問題に対処する具体策を示した「私たちは安心・納得・安全の医療を実現する。（大綱）」を作成、続いて4月には「がん対策基本法案」、「小児医療緊急推進法案」、「医療の安心・納得・安全法案」を作成し、国会に提出した。なお、これらの文書は、冊子「崖っぷち日本の医療を救う」に収録され、現在3万5千部が頒布されている。



3月29日「民主党医療関連3法案作成」



5月10日「崖っぷち日本の医療を救う」冊子作成

- 4月13日
民主党医療改革大綱
発表記者会見



5月29日「行政監視委員会」

- 5月29日
行政監視委員会
一般質疑

- 6月6日 厚生労働委員会
「医療関連法案」質疑



5月23日「日本記者クラブ社会保障研究会講演」

- 5月30日
厚生労働委員会質疑
「医療関連法案」

厚生労働委員

- 6月12日
厚生労働委員会
地方公聴会（北海道）

- 6月14日
参議院本会議医療関連法案反対討論

- 6月14日
医療関連法案大分合同新聞社取材

- 6月7日
厚生労働委員会 参考人質疑

- 6月13日 質疑
厚生労働委員会
「医療関連法案」

行政監視委員

[2005年10月～2006年6月現在]

通常部門会議以外に 足立信也の関わった会議

『厚生労働部門』

- 医療改革作業チーム
10/6～2/28 全17回
- 死因究明小委員会
1/24～3/29 全5回
- 小児医療作業チーム
2/16～3/28 全9回
- がん対策基本法案担当者会議
3/14～3/28 全4回
- 医療の安心・納得・安全法案検討会
3/16～4/4 全6回
- 拡大医療制度改革作業チーム
3/10～4/13 全4回

『環境部門』

- アスベスト対策作業チーム
10/17～1/18 全3回
- 独立行政法人関連法案担当者打合せ
2/17～3/7 全5回
- 水俣病に関する打合せ
3/1～4/28 全6回

足立信也委員会等 質疑一覧

[2005年10月～2006年6月]

- 2005年 10月 18日 環 境 委 員 会 「アスベスト被害」
- 2006年 2月 3日 環 境 委 員 会 「石綿関連法案」
- 3月 16日 環 境 委 員 会 「水俣病患者問題」
- 3月 30日 環 境 委 員 会 「国立環境研究所改正法案」
- 4月 25日 環 境 委 員 会 「随意契約問題」
- 5月 29日 行政監視委員会 「一般質疑」
- 5月 30日 厚生労働委員会 「医療関連法案」①
- 6月 6日 厚生労働委員会 「医療関連法案」②
- 6月 7日 厚生労働委員会 「参考人質疑」
- 6月 13日 厚生労働委員会 「医療関連法案」③
- 6月 14日 参議院本会議 「反対討論」



5月31日「ダイオキシン類に係る健康被害の救済に関する法律案」（カネミ・ライスオイル食中毒被害者救済法案）参議院提出

アスベスト問題

2005年10月に民主党アスベスト対策作業チームが発足し、メンバーに加わった。主に医学的見地からの検討を担当し、「石綿対策推進法案」及び政策提言「民主党は『ノンアスベスト社会』をつくる」を作成した。また、環境委員会において、政府の行ってきたアスベスト対策や政府提出の石綿関連法案への鋭い批判を展開した。

活動報告



1月29日 第21回 豊の国たこ上げ大会



3月5日
大分川ダム
仮排水路トンネル
起工式



4月2日 国政報告会(大南公民館)



5月20日 大南地区世話人会発足



4月29日 第77回 メーデー豊肥地区集会



5月1日 メーデー佐伯地区集会



編集後記

さて、冒頭のページに記事が記載されていますが、先般、親族の方と編集委員で国会見学に行つてまいりました。運良く、足立参議の委員会での質問を傍聴することができました。足立参議の国民の立場にたった鋭い質問に対して、官僚もタジタジの回答でありました。与党席(自民党)には委員が2、3人しかいなく、寝ていたり、聞いていない態度に「こんな奴が国会議員か」と腹がたちました。早く政権交代して、こんな議員に煮え湯を飲ませてやりたいです。

九州全域が梅雨入りをしました。食中毒などに注意され、健康に過ごされますことを祈念いたします。

T・F

お知らせ

個人会員募集と更新のお願い

個人会員を募集しています。(年会費 ¥5,000)

事務所の運営費・Shin-ya新聞の発行費・集会費等に充てます。皆様の入会をお待ちしています。また更新時期をむかえられた方には手続きをお願いしておりますので更新をよろしくお願い致します。

ミニ集会(見て聞いて知っちゃくれ)開催のお願い

足立信也を知っていただくためのミニ集会を計画しています。少人数でもかまいません、ご協力いただける方は、大分事務所までご連絡ください。

※尚、1面と2面で紹介されました冊子『崖っぶち日本の医療を救う』は大分事務所にご用意しております。